




公共下水道事業マスコットキャラクターうすい&おすいデザイン二次選考結果

	作品の説明	名古屋造形大学江津准教授講評
<p>作品⑤ (静岡市葵区 天野穂積 様)</p> 	<p>水(しずく)をモチーフとし擬人化しました。またマンホール柄に使用されている、春日井市の花・サクラ(おすい)木・ケヤキの葉(うすい)と組合せ春日井市らしさを強調するとともに、市民から親しまれるマスコットキャラクターを制作しました。</p>	<p>水滴をモチーフにした表現に新鮮さはないものの水玉模様がとても可愛らしく被り物のような表現になっているところが良いです。春日井市を意識しケヤキとサクラをそれぞれを識別するシンボルとしてあしらった点、フォルムもバランスよくまとまっており好感が持てます。</p>
<p>作品⑥ (横浜市港北区 甲田千裕 様)</p> 	<p>テーマは「水の輪廻転成」です。水とも魚とも取れるような何度でも生まれ変わる水の精霊という設定です。雨水、汚水は、家を、街を、下水を巡り、綺麗になって、混じり合っ私たちに元に帰ってきます。そんな水を、美しいグラデーションでデザインし、何度でも私たちの側へ美しい姿で帰ってくる姿を再現しました。体にはマンホールの柄が入っています。うすいとおすいを組み合わせると、2人合わせて水へと還る、シンボルのようになります。ぜひ下水道のことを若い人にも興味を持ってもらえるように、未来感ある色使いを採用していました。</p>	<p>何度生まれ変わる水の妖精という設定に物語性がありとても共感します。また、キャラクターでありながら一つの循環として陰陽でシンボルマークにも見えるところが秀逸です。散りばめられた葉や花卉が独特なテイストを醸し出している点も魅力です。</p>
<p>作品⑨ (所沢市 竹浪かおる 様)</p> 	<p>子供達にも下水道に興味を持って貰えるように、かわいいデザインにしました。水をイメージする水滴型の輪郭です。春日井市のイメージとして、市の花、サクラのマークがお腹にあります。</p>	<p>水滴の頭部のテッペンにある小さなアイテムと額の「う」と「お」がチャームポイントです。フォルム、色、表情。王道を行く可愛らしさでとても親近感が持てます。</p>

【評価基準となった観点】

<p>ア 魅せる下水道 うすい&おすいを見た方が、下水道に対して興味を持つことができるか</p>	<p>ウ オリジナリティがあるか</p>
<p>イ 春日井の魅力向上 うすい&おすいを見た方が、春日井市への愛着を感じられるか</p>	<p>エ デザイン性が優れているか</p>